

令和4年度まちづくり座談会における質問・要望事項と回答

■荒砥地区：12月20日（火）午後7時～8時30分 参加者数38名
（うち、16人町職員）

【マイナンバーカードについて】

【新型コロナウイルス感染症の状況等について】

《質疑応答》

- Q. マイナンバーカードについて、個人情報の流失は全くないのか。
- A. （企画政策課長）現時点で外に情報が流失していることは無いと聞いている。
- Q. 豪雨災害について、今回も荒砥新町地区と菖蒲地区に避難指示が出た。豪雨時には最上川への水門を閉めるわけだが、水が溜まってしまい、被害が出ている状況。水門に排水ポンプの設置をお願いできないか。
- A. （町長）町としても、国土交通省及び農林水産省に対し設置の要望を行っている。全国的に同じような要望が多いと聞いている。また、固定式のポンプだけでなく、可動式のポンプ車の派遣についても豪雨災害時には設置のお願いをしている。過去の災害時にもポンプ車には稼働いただいた。これからも地域の安全を守るため、災害時の派遣について引き続きお願いをしていく。
- Q. 最上川の河川合流地にかなりの土砂が溜まっている。それを取り除いていただく要望と、堆積した砂利を有効活用する方法はないか。
- A. （町長）国や県で最上川の治水対策として浚渫工事を行うことが決まった。砂利の再利用については、荒砥駅西の方々のご協力をいただきながら行いたいというお話があったが、残念ながらご協力をいただけなかった経過もある。町単独で行うわけにはいかないので、地域のご協力を賜りながら再利用等の対応をしていきたいと思う。貴重なご意見として預からせていただく。
- Q. 今回の豪雨災害で荒砥コミセンが避難所となった。コミセンの外灯が午後10時で消灯した。非常時には24時間の点灯をお願いしたい。
また、コミセンの駐車場について今回の避難の際には車でいっぱいになってしまった。駐車できない人も中にはいたと聞いている。現在はコミセンだけを使用した避難をしているが、荒砥小学校、荒砥高校も指定されているので、そちらの避難所開設も具体的にお示しいただきたいと思う。

- A. (総務課長) 照明についてはコミセンのタイマーの関係だと思うので対応可能である。また、避難所開設については、今回の豪雨災害時にはかなり満杯に近い状態で避難していただいたと認識している。今回避難したのは、荒砥新町地区、菖蒲区の方々だったが、もう少し避難区域が拡大されれば、小学校、高校への避難誘導を行っていく。